

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.10

名前

得点

/10

問1 南アジアに位置し、人口の多くがヒन्दウー教を信仰している。この宗教では牛が神聖視されているため牛肉の消費が忌避されるほか、厳格な菜食主義者も多いため、経済規模に対して1人あたりの肉類消費量が極めて少ない国はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. イラク 2. インド 3. ラオス 4. イラン

問2 東アジアの伝統的住居には、気候への適応を示す様々な特徴がある。台所の竈（かまど）から出る熱気や煙を床下に通して部屋全体を温める「オンドル」と呼ばれる床暖房システムが、伝統的な住居に広く普及した地域はどこか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 朝鮮半島 2. 能登半島 3. 遼東半島 4. 山東半島

問3 富山県西部に位置する平野などにみられ、各農家が自宅の周囲にまとまった耕地を所有し、冬の季節風を防ぐための屋敷林に囲まれた家屋が広範囲に分散して立地している集落形態を何というか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. 路村 2. 塊村 3. 散村 4. 街村

問4 16世紀後半から約330年間にわたりスペインの植民地支配を受け、その歴史的背景から、東南アジアの国々の中で例外的に国民の大部分がキリスト教（カトリック）を信仰している島国はどこか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. フィリピン 2. マレーシア 3. カンボジア 4. ミャンマー

問5 第二次世界大戦後の高度経済成長期、深刻な労働力不足に直面した西ドイツは、1961年に二国間の労働者募集協定を締結し、多くの「ガストアルバイター（客員労働者）」を受け入れた。この協定に基づき、西ドイツへ最大の労働力を送り出し、現在もドイツ国内で最大の外国人コミュニティを形成している、アジアとヨーロッパの架け橋とされる国はどこか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. スペイン 2. トルコ 3. ギリシャ 4. イタリア

問6 社会の近代化や医療の普及に伴い、まず死亡率が低下し、次いで出生率が低下することで、人口ピラミッドの形状が底辺の広い形から中央が膨らむ形へと変化していく。このような、多産多死から少産少死へと人口のあり方が移行する現象を何というか。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. 人口転換 2. 人口減少 3. 人口移動 4. 人口爆発

問7 シベリアなどの寒冷地域において、住居の暖房から発生する熱が地中に伝わるのを防ぐため、床面を地表から離れた高床式の建築様式が用いられる。これは、地中に存在している何が融解して地盤が緩み、建物が傾倒するのを防ぐための工夫か。その対象となる土壌層の名称を答えよ。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 氷礫粘土 2. 泥炭土壌 3. 氷河粘土 4. 永久凍土

問8 ユーラシア大陸東部の乾燥地帯に位置するモンゴル高原では、季節的な移動を伴う遊牧が伝統的に行われてきた。この地域で、寒暖差の激しい気候に適応し、羊毛のフェルトを壁や屋根の覆いに用いて作られた、解体や移動が容易な伝統的住居の名称を答えよ。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ゲル 2. チセ 3. パオ 4. バレ

問9 日本の都道府県別の生活環境に関する指標において、神奈川県や千葉県、埼玉県などの大都市周辺部で通勤・通学時間が長くなる傾向がある。これに対し、通勤・通学時間が短く、かつ持ち家住宅割合が全国トップクラスに高い、日本海側に位置する都道府県はどこか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 富山県 2. 長野県 3. 石川県 4. 福井県

問10 アジア太平洋地域に位置するある国は、近年アジア諸国との結びつきを強めており、多くの留学生を受け入れている。この国における留学生の出身国・地域は、中国が最も多く、次いでインド、そして地理的に近い東南アジアのマレーシアが上位を占める。この受け入れ国はどこか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. パプアニューギニア 2. バヌアツ 3. オーストラリア 4. ニューージーランド

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 2 インド	インドでは人口の約8割をヒन्दゥー教徒が占めており、牛を神聖な動物として崇めるため牛肉の消費が禁忌とされている。また、イスラム教徒も一定数存在し豚肉を忌避すること、さらに殺生を嫌う教義から完全な菜食主義者（ベジタリアン）の割合が非常に高いことなどから、国全体の肉類消費量は極めて低く抑えられている。
問2	答え 1 朝鮮半島	オンドルは、冬季の寒さが非常に厳しいアジア東部の半島地域において発達した伝統的な暖房設備である。この地域では、台所の煮炊きで生じる熱を無駄なく住居の暖房に活用する知恵が生み出され、生活文化に深く根付いている。
問3	答え 3 散村	各農家が自らの耕地の中心に家屋を構えたため、家屋同士が離れて点在する景観が生まれた。一戸当たりの経営規模が比較的大きく、耕地の管理に都合が良いという利点がある。家屋の周囲には強風や吹雪から家を守るための屋敷林（カイニョ）が植えられている。
問4	答え 1 フィリピン	1521年のマゼラン到達後、1571年にマニラが建設されて以来、この地域はスペインの植民地支配下に入った。この長期にわたる支配の影響により、カトリックを中心とするキリスト教が広く浸透し、現在でも国民の約9割がキリスト教徒である。これは仏教やイスラム教が主流を占める他の東南アジア諸国とは異なる大きな特徴である。
問5	答え 2 トルコ	第二次世界大戦後の西ドイツは、急速な経済復興（奇跡の復興）に伴う労働力不足を補うため、周辺諸国と協定を結んで外国人労働者（ガストアルバイター）を受け入れた。特に1961年に協定を結んだトルコからの流入が最も多く、彼らの多くが定住化したことで、現在でもドイツにおける最大の外国人グループとなっている。
問6	答え 1 人口転換	社会の発展に伴い、衛生環境の改善や医療技術の向上によってまず死亡率が急激に低下する（多産少死）。その後、教育の普及や家族計画の浸透、女性の社会進出などによって出生率も低下し、最終的に少産少死の段階へと至る。この一連の歴史的・社会的な人口動態の変化プロセスを人口転換（デモグラフィック・トランジション）と呼ぶ。この変化は人口ピラミッドの形状にも直接反映され、富士山型から釣鐘型、そして壺型へと移行する原因となる。
問7	答え 4 永久凍土	シベリアやアラスカなどの高緯度地域（寒冷地域）の地下には、年間を通じて凍結した状態にある永久凍土が分布している。これらの地域で暖房を完備した建物を直接地面に建てると、建物からの熱が地中に伝わり、永久凍土が融解して地盤が沈下し、建物が傾いたり崩壊したりする原因となる。そのため、杭を深く打ち込んで床面を地表から浮かせ、熱が地盤に伝わらないようにする高床式の住居が考案された。多雪による出入口の閉塞を防ぐためといった理由は、この地域における高床式住居の主目的ではない。
問8	答え 1 ゲル	モンゴル高原などの寒冷な乾燥地帯では、遊牧生活に適した移動式住居が発達した。この住居は、家畜である羊の毛から作られた断熱性の高いフェルトで木製の骨組みを覆う構造になっており、強風や寒さに強く、かつ短時間で組み立てや解体ができるように工夫されている。中国語では「パオ（包）」とも呼ばれる。
問9	答え 1 富山県	富山県は、北陸地方に位置し、持ち家住宅割合が全国で最も高い県の一つとして知られている。また、職住近接の傾向が強く、大都市圏に比べて平均通勤・通学時間が短いという特徴を持つ。これに対し、関東大都市圏の神奈川県や埼玉県などは、郊外から都心への通勤・通学者が多いため、通勤・通学時間が長くなる傾向がある。
問10	答え 3 オーストラリア	アジア太平洋地域に位置するオーストラリアは、地理的な近接性からアジア諸国との関係を重視している。同国への留学生は、英語圏で共通して多い中国やインドに加え、地理的に近い東南アジアのマレーシアからの受け入れが上位に入ることが大きな特徴である。